恵山の火山活動解説資料（令和８年10月）

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１、図２-①～②）

監視カメラによる観測では、Ｙ火口の噴気の高さは火口縁上200m以下で経過し、噴気活動は低調な状態です。

・地震及び微動の発生状況（図２-③～④）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図２-⑤）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。



図１　恵山　南西側から見た山頂部の状況（高岱監視カメラによる）

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』、『電子地形図（タイル）』及び『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。
次回の火山活動解説資料（令和８年11月分）は令和８年12月８日に発表する予定です。

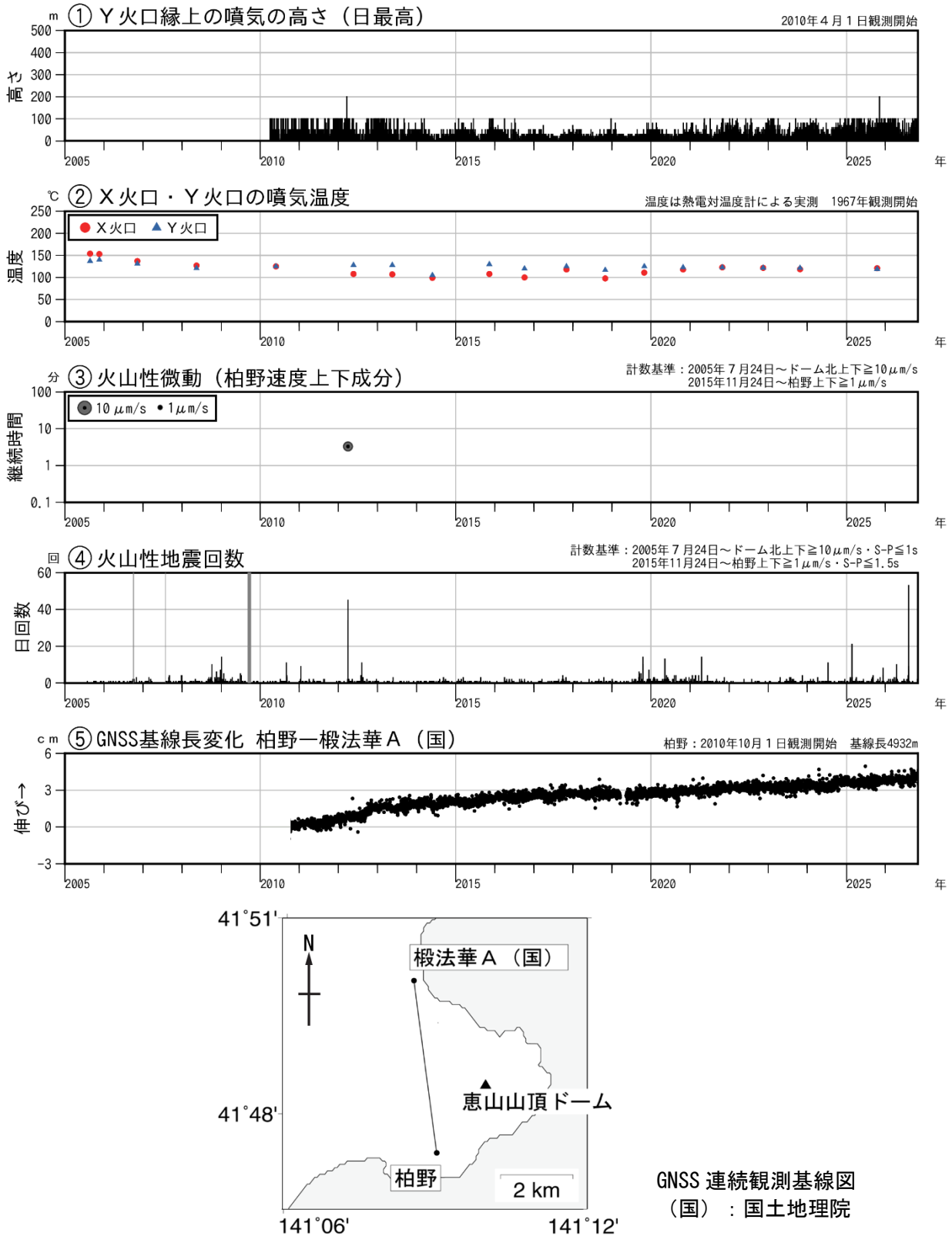
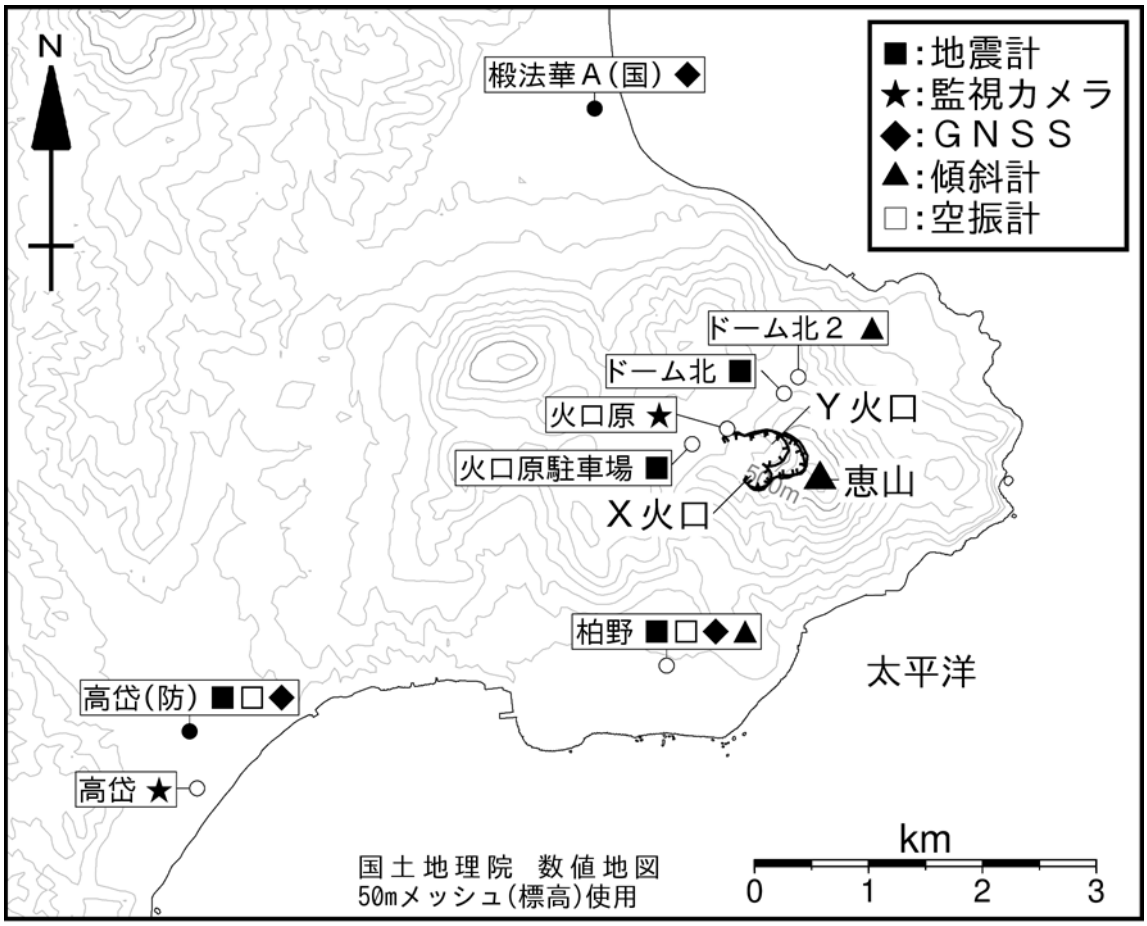


図２　恵山　火山活動経過図（2005 年７月～2026 年 10 月）
④の灰色部分は機器障害による欠測期間を示します。
⑤のグラフは上図の基線に対応しています。
⑤のグラフの空白部分は欠測を示します。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は他機関の観測点位置を示しています。
(国):国土地理院、(防):国立研究開発法人防災科学技術研究所

図３　恵山　観測点配置図